

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：7月どりエダマメの優良品種の選定（第67回全日本野菜品種審査会）			
〔要約〕4月播種7月収穫の露地栽培エダマメの優良品種は「M3-025」、「夏風香」、「ゆかた娘」及び「MEB-600」の4品種である。			
キーワード エダマメ、品種比較、品種審査会、夏どり栽培、露地栽培			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 暖地園芸研究所 野菜・花き研究室	
	協力機関	（一社）日本種苗協会、安房農業事務所	
実施期間	2016年度		

〔目的及び背景〕

千葉県におけるエダマメの産出額は52億円で全国第1位である（平成27年生産農業所得統計）。県南地域では、在来大豆を活用した晩生エダマメ産地が育成されてきたが、近年は、市販エダマメ品種を用いて出荷期間を拡大したり、新たな産地の形成が試みられている。そこで、県南地域において、4月播種7月収穫の作型における適品種を選定する。

なお、本試験は第67回全日本野菜品種審査会（エダマメ（露地・夏どり））として実施する。

〔成果内容〕

- 1 第67回全日本野菜品種審査会（エダマメ（露地・夏どり））において審査された11品種のうち、入賞となった品種は、「M3-025」（（株）サカタのタネ）、「夏風香」（雪印種苗（株））、「ゆかた娘」（カネコ種苗（株））及び「MEB-600」（丸種（株））の4品種である（表1）。
- 2 1等の「M3-025」は莢数が特に多く、生育の揃いが良い点で評価が高い（図1）。入賞品種は概ね食味が良好である。

〔留意事項〕

- 1 生育期間中の平均気温は平年よりも概ね高く推移し、特に7月は日最高気温の半旬別平均値が平年を1.9～2.8℃上回った。生育期間中の積算降水量は平年の96%、積算日照時間は平年の113%であったので、生育は全般に良好で、収穫期はやや早まった。

〔普及対象地域〕

県内全域のエダマメ生産者

〔行政上の措置〕

〔普及状況〕

〔成果の概要〕

表1 第67回全日本野菜品種審査会（エダマメ（露地・夏どり））の審査結果

順位	審査 番号	得点			品種名	出品社名
		立毛	収穫物	合計		
1	1	77	260	337	M3-025	(株) サカタのタネ
2	4	78	255	334	夏風香	雪印種苗(株)
3	11	77	252	329	ゆかた娘	カネコ種苗(株)
4	9	82	247	329	MEB-600	丸種(株)
5	6	76	246	322		
6	5	78	244	322		
7	8	82	239	320		
8	7	75	237	312		
9	10	80	230	310		
10	2	75	234	309		
11	3	76	232	308		

- 注1) 栽培場所は野菜・花き研究室露地圃場（館山市）、土壌は森林褐色土
 2) 平成28年4月27日に1か所3粒を播種し、5月24日に1か所1本に間引いた。
 虫害及び鳥害により欠株が生じたため、同日に播種しておいた区外の予備苗を補植した
 3) ベッド幅100cm、通路幅80cm、条間30cm、株間15mの4条並列植え（黒マルチ使用）とした
 4) 基肥の10a当たり施肥分量は、窒素3kg、リン酸10kg、加里10kgとし、
 追肥は行わなかった
 5) 審査は平成28年7月21日に行い、配点は立毛100点、収穫物300点の合計400点満点であった

表2 開花期、収穫時の生育、可販莢数、可販莢率及び可販収量

審査 番号	品種名	開花期 (月日)	主茎長 (cm)	節数 (節)	1次分枝数 (本)	可販莢数 (10 ³ 個/10a)	可販莢率 (%)	可販収量 (kg/10a)
1	M3-025	6月8日	32.0	8.5	3.2	354	75	1,195
4	夏風香	6月8日	25.6	8.9	3.1	274	72	891
11	ゆかた娘	6月12日	35.8	9.0	3.1	333	67	1,000
9	MEB-600	6月7日	39.0	8.9	3.1	286	72	926
6		6月7日	40.2	9.4	3.8	317	73	1,100
5		6月10日	40.7	9.1	3.1	278	69	1,015
8		6月8日	28.1	8.3	2.4	243	70	821
7		6月8日	34.5	9.3	2.6	271	66	1,010
10		6月7日	25.7	7.5	3.0	202	59	733
2		6月8日	28.6	7.6	3.5	254	59	713
3		6月11日	29.0	8.1	3.1	209	57	698

- 注1) 1花以上開花した株が各区の半数以上となった日を開花期とした
 2) 各区10株について測定した (n=3)
 3) 可販莢数は、4粒莢、3粒莢及び2粒莢の合計とした
 4) 可販莢率は全莢数に対する可販莢数の割合として求めた
 5) 可販収量は、4粒莢、3粒莢及び2粒莢の莢重の合計とした

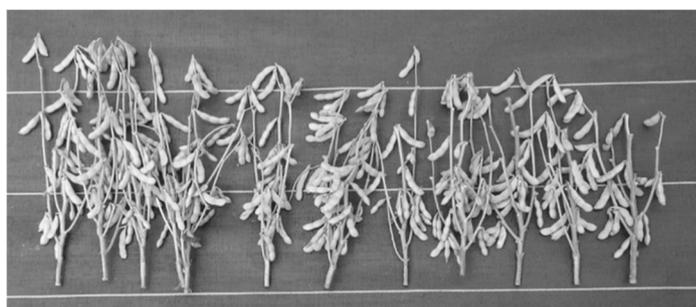


図1 1位「M3-025」の収穫物

[発表及び関連文献]

- 1 平成29年度試験研究成果発表会（野菜部門）

[その他]

- 1 「M3-025」は「とびきり」として平成29年から販売されている。